

オンライン環境を活用した授業実践例 外国語科（英語）

動画共有サイトに自作の動画を掲載し、単元の事前学習に活用

・動画共有サイト（YouTube）に、教員が声入れをしたパワーポイントの動画を作成して限定公開し、事前学習として生徒に視聴させ、それと同時に、Google Formで、生徒に応用問題を配付し、その問題を解かせることにより、単元の内容の基礎的知識の確認と習得を図る。

助動詞応用問題 ☆

I'm sorry to hear about your problem. But if you had taken my advice, you () in such trouble now.

have't been

would be

would have been

wouldn't be

助動詞の理解度チェック問題（Google Form）

4. 助動詞 Model sentences

3. You **must not** forget to eat vegetables at every meal. ~してはいけない。禁止

don't have to ~との違いは？

⇒ ~する必要はない。不要

4. We **used to** play dodge ball during recess in elementary school.

かつて~したものだ。過去を振り返って

同じ意味の助動詞は？ = **would often**

be used to ~ing ~するのに慣れている、と区別しよう

助動詞の自作動画の1場面(YouTube)

単元名：4助動詞（英語表現Ⅱ 補助教材 発展英作文 日栄社）
単元目標：助動詞の使い分けを正しく理解し、正確に英文を書き、話すことができる。

内容：助動詞を使った英作文を授業で行う前に、事前学習として、動画共有サイト（YouTube）に掲載してある自作の解説動画を見てもらい、またGoogle Formで配布した応用問題を解いてもらう。動画を視聴したかどうかは、Google Formでアンケートで調査している。

この取り組みのねらいは、授業の中で行っている**基礎的知識獲得のための解説の時間を、家庭学習に移行すること**である。これによって、教師は、基礎的知識の解説を授業中に行う必要がなくなり、基礎的事項を生徒が習得した状態で授業を開始することができる。そのため、**授業中は知識の活用や、協同的活動（ペア活動・グループ活動等）に重点を置いて授業を展開**することができる。

動画作成は、パワーポイント本体に音入れをするのではなく、**iPadの画面収録の機能を使って、パワーポイントのスライドを動かしながら教員が声入れしているため、分かりやすいスライドが完成すれば、すぐに収録が可能であり、あまり時間をかけずに動画を作成**することができる。